

副会頭 就任特集

たか み さわ ひで しげ
高見澤 秀茂氏

長野商工会議所副会頭
株式会社高見澤 代表取締役社長

水野会頭が掲げる「ワクワクする街 長野」を実現するために、長野に住む人、住みたいと思う人、特に若い人にとって魅力ある住環境、職場環境、教育環境を行政と協力しながら整え、アピールしていくことが求められています。一方、中小企業はさまざまな課題を抱えています。人口減少の地域において果たすべき役割があると信じます。長野商工会議所に期待される役割も大きく、地域と会員のためにできることはどんな小さなことでも取り上げて前向きに挑戦すべきだと考えます。

地域と会員のためにできることは どんな小さなことでも取り上げ挑戦を

若者も住みたいと思える
魅力ある地域に

長野商工会議所副会頭に就任されたお気持ちと抱負をお聞かせください。

高見澤 お話をいただいた時はまさに晴天の霹靂でした。建設関連連部会長を5期15年務めてまいりましたし、年齢を考えるとお役御免と思っておりましたので本当に驚きました。水野会頭からは、北村前会頭が行政や団体などで務めていた役職を副会頭さんにも分担してもらいたいと頼まれ、できる範囲でしたらとお引き受けした次第です。

水野会頭が掲げる活動方針「住む人 来る人 ワクワクする街 長野」に大いに賛同しています。ただ、今の長野市はものすごい勢いで少子高齢化が進んでいます。数年前の調査では、市内の高校3年生の65%が大学等を卒業しても長野に戻ってこないと答えたそう、さらなる人口減少も懸念されます。それなりの人口と税収がないと都市機能を維持できませんし、まして長野市は県都です。今長野市に住む人にとっても、Iターンや移住を希望される人にとっても、住みたいと思える魅力ある地域社会にしていかなければと考えています。

首都圏とのアクセスの良さを生かしつつ、住環境、教育環境、職場環境などを総合的に整えていくことが必要で、特に空き家の再利用などに関しては、荻原市長にも就任前からお願いしていましたが、今後も当会議所として長野市と協力して進めていくべきと考えます。

また、冬の朝、除雪されない道路を大変な思いをしながら自転車通学をしている高校生を見るあのと信じます。当社も社会のニーズを捉え、さまざまな事業に挑戦しています。たとえば、生コンを工場で製品の形に加工するコンクリート二次製品の製造です。こうした部材は以前、施工現場でつくっていましたが、人手不足や特に技能者の不足で現場での対応が難しくなりました。そこで当社はコンクリート二次製品のプレキャスト化を推し進め、さらにLピースを大型化し、現場では重機で施工するだけの状態にしてお客様へ提供することにより、現場負担の軽減、工期短縮に貢献しています。

地域の魅力を発信する意味では、特産事業部で加工販売するなめ茸に北信濃産ぼたんこしゅうを入れたところ、各方面から好評をいただいています。他にも長野県と新潟県にミネラルウォーターのプラントを有し、安全・安心な水を届ける事業もしています。創業71年を迎えた当社は今、DXにより生産性を上げながら、人的資源の最適配置と事業ポートフォリオの見直しに取り組んでいます。長野県SDG S推進企業登録制度にも4事業所を登録しました。サステナブルな組織にすることで、これからも地域社会から必要とされる会社を当社は目指します。

PROFILE

昭和31年11月23日生まれ。慶應義塾大学卒業後、昭和59年（株）高見澤に入社。平成12年 専務取締役営業本部長就任を経て、平成13年より現職。



と、先ほど申し上げたアンケート結果にも頷かざるを得ません。限られた予算であることは重々理解していますが、若い生活者の視点も大切にしたいと思っています。

働く場所については、長野市と都市部では、待遇や業種職種の選択肢の幅の違いがあるとはいえ、長野でもできる仕事や、長野だからこそできる仕事の種類やスタイルについて、若者にもっとPRすべきかもしれません。

当会議所には国や県から多様な情報が消化できないほど押し寄せます。忙しいのは承知のうえで、地域や会員のために職員がやりたいと感じたことはどんな小さなことでも取り組むことが大切です。失敗したらそこから学び、また違う方法で挑戦すれば良いのです。

人口減少で増す中小企業の役割

地域の経済状況、中小企業が抱える課題についてどうお考えですか。

高見澤 あらゆる業種で人手不足が深刻になっ

ています。需要の高まりに応じて大きな新工場を建設しても、そこで働いてもらう従業員の確保に苦勞している会社もあります。雇用を確保するには賃金を上げたい、でもそれには生産性を高めなくてはならない。理屈では分かっていますが中小企業には至難の業です。

原料高やエネルギー価格の上昇も経営に重くのしかかっています。値上がり分をお客様に負担いただく動きが一部で見られるものの、需要過多の製品に関わる企業は競争力を維持するために価格転嫁に踏み切れません。

一方で、人口減少が進む今、地域における中小企業の役割はかつて大きくなると思います。たとえばガソリンに関して言えば、中山間地のSSは販売量が少ないため次々撤退しています。県内にはSSが3カ所以下の自体が20数カ村あり、売木村ではJAと協力してようやく1店舗の営業を再開させたものの、天龍村や青木村でも深刻な問題となっています。トータルな地域維持のため国や地方自治体によるブランドデザインが求められますが、中小企業が果たせる役割もきつと

DATA

株式会社高見澤
[設立] 1951(昭和26)年
[業務内容] 運送・青果・建材・生コン・石油・不動産・コンクリート製品他
[所在地] 長野市緑町1605-14
高見澤ダイヤモンドビル7F
[TEL] 026-228-0111

横顔

高校時代は山登りに親しんだ。今は運動不足解消に夏は歩くことを目的にゴルフをし、冬はスキーを再開した。スキーの後に温泉宿で寛ぐことも楽しみひとつ。